

# ささやきコーヒーいかが

県立大4年 地域の竹炭で開発  
福富さん



「ささやきコーヒー」を試飲する夏野市長（右）と福富さん

「コーヒーを楽しめるように」と開発を進めた。コーヒーは、ひいたコーヒー豆に竹炭の粉を混ぜて抽出。竹炭が入ると味がまろやかで、雑味がなくなるという。

ささやきコーヒーには「笹焼き」のほか「嘔き」の意味もある。きつときと市場近くの海王丸パークは

「恋人の聖地」で、恋人同士でコーヒーを飲んでささやき合っ  
てほしいとの期待を込めた。

18日は、福富さんと県立大地域連携センターコーディネーターの山田恵宣さん、カフェゼブ  
ンラックの加治幸大社長、加治  
浩和事業本部長が市役所小杉庁  
舎を訪問。試飲した夏野市長は  
「すっきりした感じ。おいしい」と話した。

今後、贈答用のパック商品も  
開発する。

## 射水

県立大環境工学科4  
年、福富真実子さん(22)

射水市黒河・小杉が、地域の竹で作った竹炭を生かした商品「ささやきコーヒー」を開発した。19日から同市海王町の新  
湊きつときと市場内にある「カ  
フェゼブンラック」で、1杯4  
00円で試行販売する。

黒河地区はタケノコの産地  
で、県立大は竹林整備や竹炭開  
発などを支援している。福富さ  
んは「若い人や女性が気軽にコ